

第3学年特別活動（ホームルーム活動）指導案

指導月日 令和〇年〇月〇日

授業者 〇〇 〇〇

1 単元名 「一人一人のキャリア形成と自己実現」

2 単元の目標

- (1) 社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義や、現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けるようにする。
- (2) 現在の自己の学習と将来の生き方や進路についての課題を見だし、主体的に学習に取り組み、働くことや社会に貢献することについて、適切な情報を得ながら考え、自己の将来像を描くとともに自らの意思と責任で進路の選択決定ができるようにする。
- (3) 将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。

3 単元観

この単元は個々の生徒の将来に向けた自己実現に関わるものであり、一人一人の主体的な意思決定に基づく実践活動にまでつなげることをねらいとしている。また、将来直面する様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会的・職業的に自立していくためには、生徒一人一人が、学ぶこと、働くこと、そして生きることについて考え、それらの結び付きを理解していくことで、多様な他者と協働しながら、自分なりの人生をつくっていく力を育むことが求められる。

4 生徒の実態〔第3学年〇組〇名〕

就職か進学かの進路選択については多くの生徒が決定しており、生徒の進路希望達成への意欲は高い。就職希望者は、これから職種や具体的な企業を決める時期となるため、様々な情報収集に日々努めている。進学希望者は、自己の興味関心がある分野について深く学べる複数の学校を進学先候補とし、比較検討している。

就職希望者、進学希望者ともに、「自ら考え主体的に判断し行動することができるようになり、人間としての在り方生き方についての関心が高まってくる」という高校生の発達段階から、自己の価値観や人生観に照らし合わせて就職か進学かの決定を行った。しかし、具体的に企業や学校を一つに決める際に、合格しやすいことを条件として企業や学校を決める生徒もあり、進路先決定が自己実現と関わっているという意識が低い実態がある。

5 指導観

この単元では、学校における個々の学習が、それぞれのキャリア形成にどのようにつながっていくのかということに気付かせたり、社会の中で役割を果たし自立して生きていくことの意義を考えさせたりする中で、日常の学習や生活に関する意欲を高めることが求められる。また、現在の学習が将来の社会・職業生活の基盤になることや、他者との関わりを通して自己の将来に関する考えを深めることの大切さを理解し、自己を見つめ、これまでの活動を振り返りながら、主体的に新たな学習に取り組むことができるように指導する必要がある。

6 道徳教育との関連

学習指導要領では特別活動を道徳教育の中核的な指導の場面の一つとしている。高校の道徳教育は学校の教育活動全体を通して行うものとされており、人間としての在り方生き方について考える教育により行うことになる。特別活動では、ホームルーム活動が道徳教育との関連を図る上で重視されており、ホームルーム活動を有効に活用することが大切である。年間のホームルーム活動と道徳教育がどの場面で結びつくのかを意識することで道徳教育の充実が図られる。

本時においては、活動目標である、「将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養う」ために、企業選択を通して自己の人生観や価値観への自覚を深めることが道徳教育につながるものとなる。（別紙1参照）

7 単元の評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解している。 現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けている。	現在の自己の学習に関する課題及び将来の在り方生き方や進路についての課題を見いだしている。主体的に学習に取り組み、働くことや社会に貢献すること、自己の将来について適切な情報を収集して考え、意思決定して実践している。	将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返ろうとしている。働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて現在及び将来の生活を改善しようとしている。

8 本時の計画

(1) 目標

将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。

(2) 本時の指導に当たって

本時では、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説総則編で求められている発達の段階に応じた指導方法の工夫として話し合う活動を設定した。「自ら考え主体的に判断し行動することができるようになり、人間としての在り方生き方についての関心が高まってくる」という高校生の発達段階から、多様な価値観や意見に触れ、自己と他者の人生観や価値観を比較することで自己実現への考えを深められるように指導したい。また、小学校道徳科の教材「手品師」（東京書籍 私たちの道徳6）を小・中学校での道徳科の学びの系統性を踏まえて活用し、人間としての在り方生き方を考える契機としたい。

(3) 指導過程

段階	学習活動 (○主な発問・指示)	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 企業が求める人材像を把握する テーマ 自分の将来と生き方について考える		- 校訓「誠実」について触れる。 - 資料から企業が求める人材像を確認する。

展開 40 分	2 将来と生き方について考える ○企業が求める人材像で自分が一番該当すると思う項目を1つ選び、なぜそう思うのか理由も述べてください。 ○自分の選んだ項目が第一希望とする規模の企業の求める人材像上位5項目の中に入っているか照らし合わせてみてください。 ○第一希望の企業が求める人材像に合致することを合格条件にした場合、企業が求める人材像に合うように自分の特性を高めるか、自分の特性に合った企業を選ぶか、あなたはどちらを選択しますか。その他もありとします。理由も述べてください。 ○あなたが手品師なら男の子との約束と大劇場への出演（夢の実現）のどちらを選択しますか。選べないもありとします。理由も述べてください。	・素直である。 ・明るい性格である。 ・リーダーシップがとれる。 ・忍耐力がある。 ・自分の夢(就きたい職業)を叶えるために特性を高めたい。 ・自分の良さを発揮して働きたいので特性に合った企業を選びたい。 ・特性に合っていないと長続きしない。 ・迷って決めることができない。 ・夢を諦めることはできない。 ・成功したい。 ・約束を破ると後悔する。	・現在の生活を振り返り自分の特性をつかむ。 ・ワークシートへ記入させる。 ・企業が求める人材像と自分の特性を照らし合わせ、生き方を考えることにつなげる。 ・自己の生き方と関わっていることに触れる。 ・自己実現について考えさせる。 ・グループ内で意見交換を行い自己の人生観や価値観への自覚を深める。 ・グループ内で発表し、様々な価値観に触れ生き方についての思索を深める。 ・手品師の自己実現に触れる。手品師としての成功を選ぶ生き方や自分の信念に従った生き方など様々な考えがあることに触れる。
終 末 5 分	3 振り返りを行う ○自分の将来(or 職業)と生き方について考えたことを述べてください。		・ワークシートに記入し振り返る。

(4) 準備物

- ・ワークシート（別紙2）

【本時の評価】

将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返ろうとしている。また働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて、現在及び将来の生活がよりよいものになるよう主体的に取り組もうとしている。

○評価の視点

ワークシートに自己実現に向けてのこれからの心構えや生活の中で取り組みたいこと等の記述があることを目安とする。

高校道徳シート

本時の主題	自分の将来と生き方について考える。		
「人間としての在り方生き方」を考える教育が目指すこと			
自分にふさわしいよりよい生き方を，選択可能ないくつかの生き方の中から選ぶ上で，自分自身に固有な選択基準ないし判断基準を生徒に持たせること。			
1 道徳教育重点目標	2 発達の段階（高等学校）		
目指す生徒の姿	・自ら考え主体的に判断し行動することができるようになり，人間としての在り方生き方についての関心が高まってくる。 ・幅広い見方による普遍的な思考ができるようになる。 ・行為の結果と行為の動機どちらも踏まえて，深い思索ができるようになる。 ・人間としての在り方生き方について，様々な価値と関わらせながら，多面的・多角的に考えることができるようになる。 ・国家社会の一員としての自覚に基づき，考えることができるようになる。		
1 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を育む。			
2 公共の精神を貴び，民主的な社会及び国家の発展に努める人間を育成する。			
3 伝統と文化を尊重し，それらを育んできた郷土を愛し，地域社会に貢献できる人間を育成する。			
4 他国を尊重し，国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献する人間を育成する。			
5 教養を身に付け，社会人として自立した生活が送れる人間を育成する。			
6 思いやりの心を持ち，多様な他者との協働が図れる人間を育成する。			
3 各教科，科目等と道徳教育の関連			
自主的，実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして，主体的に集団や社会に参画し，生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての在り方生き方についての自覚を深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。			
4 本時での道徳教育に関わる場面・指導方法等			
・第一希望の企業が，求める人材像に合致することを合格条件にした場合，企業が求める人材像に合うように自分の特性を高めるか，自分の特性に合った企業を選ぶか，その他も含めて選択することを通して自己実現について考える。 ・グループ内で発表し，様々な価値観に触れ生き方についての思索を深める。			

特別活動ワークシート 「自分の将来と生き方について考える」 年 組 番 氏名

- 1 企業が求める人材像で自分が一番該当すると思う項目を1つ選び、なぜそう思うのか理由も述べてください。

該当する項目
理由

- 2 企業が求める人材像に合うように自分の特性を高めるか、自分の特性に合った企業を選ぶか、あなたはどちらを選択しますか。その他もありとします。理由も述べてください。

タイプ：自分の特性を高める・自分の特性に合った企業を選ぶ・その他
理由

- 3 あなたが手品師なら男の子との約束と大劇場への出演（夢の実現）のどちらを選択しますか。選べないもありとします。理由も述べてください。

選択：男の子との約束・大劇場への出演（夢の実現）・選べない
理由

- 4 自分の将来(or 職業)と生き方について考えたことを述べてください。

--